



ほうない

第11号

村上市立保内小学校
強い力 豊かな心

〒959-3107

村上市下鍛冶屋264-2

TEL0254-62-2302

FAX0254-62-5553

全校放送による3学期の始業式：1月6日（水）～1年生教室～

一歩一歩、着実に前に歩む年に

校長 須貝 学

逆境やピンチを乗り越えて、人を元気にする言葉や名言が数多くあります。そんな言葉の中で「明けない夜はない」という言葉を最近よく目や耳にします。昔からさまざまなジャンルの歌の歌詞にも登場してきました。この言葉の由来は、シェイクスピアの「マクベス」に登場するマルカムの台詞から来ていると言われており、歴史の長い言葉です。今、こんな時だからこそ、多くの人たちの励みになっっていることと思います。

昨年末のNHK紅白歌合戦でも出演したアーティストの一人が「嵐が去った後に、虹のかかった美しい空が、どうか皆さんの前に広がりますように。明けない夜はないと信じて」と、この言葉を引用して視聴者へのメッセージを発信していました。

新年を迎えましたが、年明け早々に、政府からは一都三県の緊急事態宣言が出されました。新型コロナウイルスの感染は、全国的にもまだ拡大傾向にあり、先の

見えない状況が続いています。そんな時であっても解決に向けて明けない夜はないと信じて、みんなの手を取り合っていきたいという励ましのメッセージが、この言葉には込められているのだと感じます。

厳しい状況で始まった令和三年は丑年です。牛は昔から食料としてだけでなく、農作業や物を運ぶ時の労働力として、人間の生活に欠かせない動物でした。勤勉によく働く姿から「誠実さ」を象徴し、縁起の良い動物として十二支に入っています。十二支の中では動きがゆっくりで歩みが遅いため、丑年は先を急がず、一歩一歩着実に物事を進めることが大切な年と言われます。だから、慌てて良い結果を求めず、目の前の自分のやるべきことを黙々とこなすことが将来の成功につながるのだ、と3学期の始業式でも児童に話しました。時間はかかっても、必ず良い結果がやってくるのだと信じて前に歩みたいものです。